

コ・メディカル形態機能学会 平成 26 年度総会 議事録

日時：平成 26 年 9 月 20 日（日） 13：35～14：00

場所：北九州国際会議場メインホール

議長：小林繁学術集会長、書記：石橋敏郎

会員数 236 人のうち過半数（委任状 45 票、当日の参加者 85 人の計 130 人）で、総会が成立した。

議題

1. 平成 25 年度事業報告（野村前会長）

野村前会長より 4 つの事業報告があった。

1) コ・メディカル形態機能学会第 12 回学術集会・総会が次のとおり開催された。

平成 25 年 9 月 14 日（土）、広島国際大学呉キャンパス、学術集会長：隅田 寛

集会では 2 つのシンポジウム（講演 4 題）と 35 の一般演題（口頭発表 24 題、ポスター発表 11 題）が行われた。また、3 名の学会奨励賞が決定した。

2) 学会誌「形態・機能」の発行：第 12 巻第 1 号（平成 25 年 8 月）と第 12 巻第 2 号（平成 26 年 3 月）を発行した。合計で総説 1 編、原著論文 4 編、短報 1 編が掲載された。

3) 当学会の次期役員（平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の選挙を行った（第 12 巻第 2 号 83 頁に掲載）。選挙管理委員会：高橋敬委員長、野田亨委員

選挙結果（辞退者を除いた 8 人）：（敬称略/あいうえお順）

河上敬介、川真田聖一、小林繁、島田達生、隅田寛、中谷壽男、藤本悦子、三谷章

4) Zygote「3D 解剖アトラス」を監訳した。

南江堂から本学会の野村前会長に依頼があり、役員が分担して監訳した。このアプリはこの 10 月に iPhone、iPad 等の iOS 機種が発売予定です。

5) 会員数は 236 人（平成 26 年度 3 月 31 日現在）。

2. 平成 25 年度決算報告（中谷会計委員長）

決算案（第 13 巻 1 号 45 頁に掲載）が説明され、高橋監事が監査結果を報告して、承認された。

3. 新役員の紹介（川真田会長）

平成 26 年 3 月 28 日と 9 月 19 日の役員会で、新役員の役割分担（下記）が決定された。

川真田 聖一（会長、編集委員）；隅田 寛（副会長、編集委員長）；中谷 壽男（副会長、会計委員長）；三谷 章（副会長、学術委員長）；小林 繁（学術集会長、編集委員）；島田 達生（学術委員）；藤本 悦子（広報委員長）；河上 敬介（広報委員）

新役員とその役割分担が紹介され、承認された。

4. 平成 26 年度事業計画（川真田会長）

川真田会長から説明があり、下記の内容が承認された。

1) 平成 27 年 9 月 26 日（土）に、埼玉医大で学術集会を開催する（小島龍平次期学術集会長）。

- 2) 「形態・機能」を発行する。
 - 3) 平成 26 年度末までに新ホームページを公開する（藤本広報委員長、河上広報委員）。
 - 4) J-stage で論文を公開できることを目指す（隅田編集委員長）。
 - 5) 次回解剖学会全国学術集会（平成 27 年 3 月 21～23 日）と次回コ・メディカル形態機能学会に合わせて、役員会を開催する。
 - 6) 本学会活性化のために、可能なことをできるだけ多く実行する。
5. 平成 26 年度予算（中谷会計委員長）
- 予算案が説明され、承認された。
- 本年度限りの予算として、ホームページを外部委託するに当たり「サイトの更新経費、300,000 円」ならびに J-stage 参加を前提とした「J-STAGE 掲載料、270,000 円」が計上された。
6. 「形態・機能」の編集・発行状況（隅田編集委員長）
- 編集・発行状況ならびに J-stage での公開準備状況が報告された。隅田委員長から、投稿数は減っていないが、論文様式等に不備があるものが増加しているため、投稿前の相談（プレ査読）を利用するよう説明があった。
7. 第 14 回学術集會長の挨拶（小島龍平次期学術集會長）
- 平成 27 年 9 月 26 日（土）に埼玉県入間郡毛呂山町の埼玉医科大学川角キャンパスで学術集會を開催することが承認された。また、小島次期学術集會長から、多数の参加、発表を希望するよう要請があった。
8. その他
- 次の補足説明があり、承認された。
- 1) Zygote3D 監訳の経緯（野村前会長）
- スマホのアプリや PC のソフトである Zygote の「3D 解剖アトラス」監訳を引き受けた経緯と特典（学会員による期間限定の試用）が説明され、会員特典による利用を希望される会員の方は学会事務局まで連絡するよう依頼があった。
- 2) 第 15 回学術集會担当者（川真田会長）
- 平成 28 年度学術集會の担当は、京都大学の三谷章教授であることが説明された。

第 13 回学術集會報告

会 期：平成 26 年 9 月 20 日（土）9 時 30 分～18 時 50 分

演題数：合計 23 演題（口演発表 15 演題、ポスター発表 8 演題）

特別講演：橋元隆「理学療法士・作業療法士教育における解剖学実習ことはじめ」

参加者数：会員 85 名、学生 30 名

市民公開講座：松浦恒明・宗廣誠一「スポーツ障害肩の予防」

参加者数：210 名

学会奨励賞（3 演題）

学会奨励賞候補 12 演題（口演 9 演題、ポスター 3 演題）の中から選考委員の投票により、下記の 3 演題が選ばれた。

京都大学小段裕太ほか「ラバーバンドイリュージョンを用いた身体イメージの形成に関わる脳領域の側性化について」

名古屋大学野田さつき・清水花奈美・渡邊真季ほか「リンパ流速の測定方法の開発-疾患との関連において-」

金沢大学向井加奈恵ほか「ご遺体を用いた橈側皮静脈と橈骨神経浅枝の交叉の位置と頻度の調査」

奨励賞の発表ならびに表彰は、学会後の懇親会の中で行われた。